

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.3-5

開催地：人吉市西瀬校区

平成 19 年 10 月 4 日（木）、人吉市西瀬校区（会場：人吉市西瀬コミュニティセンター）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。

同報告会には、約 30 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。

なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

市内	23名
市外	2名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p>【河川整備基本方針の説明について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市房ダムや鶴田ダムなど、ダムの放水による洪水の事実に触れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針は、長期的な河川整備の目標等の基本的な方針について定めたものであり、ダムの整備など具体的な治水対策については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくことになります。 球磨川流域では、市房ダムの操作への疑問の声が強いことから、報告会の中で市房ダムの操作に関してご質問があった場合には、熊本県の方から説明いただいております。
<ul style="list-style-type: none"> 森林の保水力の評価が低い。間伐をしっかりと行い、人工林と広葉樹の混交林となれば、保水効果は非常に高くなる。基本高水流量の（人吉地点）7,000m³/sは過大。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本高水のピーク流量等の治水計画は森林の存在を前提としていることから、治水上、我々河川管理者としても森林の保全は重要であると認識しているところです。 球磨川流域においては、経年的に森林の状態（樹種の割合等）の変化はあるものの、昭和20年代以降、降雨の流出形態に大きな変化は見られないことや、流域の約8割を森林が占めており、これ以上森林面積が増大することは見込まれないことから、現在の流出形態を前提として基本高水のピーク流量を算出することが妥当であると考えています。 なお、今後、森林の保水力に関する新たな知見により、基本高水のピーク流量算出の前提条件が著しく異なった場合には、必要に応じこれを見直すこととしています。
<ul style="list-style-type: none"> 川内川の洪水の例があったが、宮崎の森林は健全な状態でなく、保水力が無い状態だった。そうした森林の状況も考慮して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本高水のピーク流量の検討にあたっては、球磨川流域で洪水時に実際に降った雨と流量を用いて行っており、結果的に森林の状況も考慮したものとなっています。
<ul style="list-style-type: none"> この報告会は、川辺川ダムをつくるための前提という話を聞いたが、そうではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針は、長期的な河川整備の目標等の基本的な方針について定めたものであり、ダムの整備など具体的な治水対策については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくことになります。 報告会は、基本方針の内容等について地域の方々にご報告するために開催したものであり、ご指摘にはあたらないものと考えています。

<ul style="list-style-type: none"> ・なるほどと思うところもあるが、説明に腑に落ちないところもある。現実的ではないと思う。将来に球磨川にダムはいらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針は、長期的な河川整備の目標等の基本的な方針について定めたものです。 ダムの整備など具体の事業については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。
<ul style="list-style-type: none"> ・基本高水と計画高水の差について、森林もダメ、あれもこれもダメと、洪水から守るためにはダムしか無いと誘導されているような感じがする。あくまで基本方針の説明であり、ダム等については白紙ということによいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針は、長期的な河川整備の目標等の基本的な方針について定めたものです。 ダムの整備など具体の事業については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。
<p>【球磨川の治水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(市房) ダムができる以前の球磨川はきれいであり、人命を奪うような洪水は無かった。ダムによる治水効果には大きな疑問がある。 ・(市房) ダムが出来てから、あっという間に増水して、あっという間に減るようになった。それまでは、5～6年おきに洪水があり、低い土地で堤防も低かったが、避難ができており、被害は無かった。 ・(S40年水害後) 川幅が倍になり、堤防も1.5m高くなっており、もうダムはいらない。 ・市房ダムができて被害を軽減したという話もあるが、市房ダムが原因で被害が増大したと確信している。 ・現在堆積している土砂をとれば、堤防の嵩上げは必要無いと思う。 ・S40年の洪水時には、田んぼのところでは背がたたず、家に登った。当時80ぐらいの祖母が、今までで初めてと言っていた。 ・S40年の洪水時には、朝起こされたら、足元まで水が来ていて、10分後には畳が浮いてきた。こうした急激に出る水はダムが原因だろうと思う。 	<p>【熊本県回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムは、洪水時に精一杯ためて、満杯になったら一気に流すものと勘違いしている方も多し。ダムの操作は、洪水調節時は流入量の一部をダムに貯めて流入量より少ない量を放流しており、放流量は、流入量を上回ることはありません。 ・貴重な体験談をありがとうございます。ご指摘のような意見がある一方、球磨川の上流では、洪水が減ったとのご意見もいただいております。今後とも、地元住民の方々から、さらにご意見や体験談等をお伺いしていきたいと考えています。 ・ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。 <p>【熊本県回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムは、洪水時に精一杯ためて、満杯になったら一気に流すものと勘違いしている方も多し。ダムの操作は、洪水調節時は流入量の一部をダムに貯めて流入量より少ない量を放流しており、放流量は、流入量を上回ることはありません。 ・現在、人吉地区では、普段の水面より上部にある土砂等を取り除くことなどにより、人吉地点で4,000m³/sまでは洪水を安全に流すことが可能になりますが、それ以上の流量を流すことができるよう掘削する場合、普段の水面より下部の掘削が必要となり、人吉層の露出なども懸念されます。人吉層が露出すると、アユなどの魚類への影響、舟下りへの影響、橋梁や護岸の基礎への影響などがあり、現実的ではないと考えています。 ・貴重な体験談をありがとうございます。 昭和40年の水害については、当時の状況をよくご存じの方々から、さらに情報をお聴きするなどして、河川管理者としての説明責任を果たすことができるよう引き続き努めてまいります。 <p>【熊本県回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムは、洪水時に精一杯ためて、満杯になったら一気に流すものと勘違いしている方も多し。ダムの操作は、洪水調節時は流入量の一部をダムに貯めて流入量より少ない量を放流しており、放流量は、流入量を上回ることはありません。

<ul style="list-style-type: none"> ・薩摩瀬には立派な堤防が造られたから、洪水は来ないと思う。後はダムを崩してもらえば川はよくなる。ダムがあるから堤防をつくらなければいけなくなり、余計な投資である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的に洪水調節を行うダムは、ダムの上流から流れ込んできた洪水のうち、一部をダムに貯め込むことで、ダムの下流に流れる洪水の量を減らす役割があります。 国土交通省としても、ダムの操作について、これまで説明責任が十分でなかったことから、今後、様々な機会を通じて地域の方々にご説明していきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・S40年の洪水時には、私の集落で、14世帯、67名が流出等で被害を受けた。あっという間に水が出て、朝の6時頃がピークであった。6時に急速に水が引き、脱出したが、家も何もなくなって、呆然とした。農業用のサイロだけが残っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な体験談をありがとうございます。 昭和40年の水害については、当時の状況をよくご存じの方々から、さらに情報をお聴きするなどして、河川管理者としての説明責任を果たすことができるよう引き続き努めてまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・S40年の水害での唯一の犠牲者は、私の目の前で亡くなった。国土交通大臣が、S40年の水害で何十人も亡くなったと言ったが、実際亡くなったのはたった1人。もう一人の方は下水道でなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な体験談をありがとうございます。 昭和40年の水害については、当時の状況をよくご存じの方々から、さらに情報をお聴きするなどして、河川管理者としての説明責任を果たすことができるよう引き続き努めてまいります。
<p>【球磨川の環境について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深田で人吉層が露出したのは市房ダムができたからである。瀬が消滅したのも上流にダムが2つあるからである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市房ダムの下流には、河床に砂利や礫が存在する箇所もあり、深田地区での岩盤の露出は、一概に市房ダム建設による影響とはいえないと考えています。また、球磨川における瀬の消失についても、近年の台風による豪雨により山腹崩壊が発生して、大量の土砂が河川へ流入したことなどが原因となっている場合もあると考えられます。 今後、川づくりを進めるにあたっては、国としても瀬・淵の保全に努めていく考えです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ダムは造らないで、昔の球磨川に戻して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、少しでも昔の川の姿に近づけるように、関係機関や地域住民の方々と連携して、川づくりを進めていきたいと考えています。 また、ダム等の具体的な施設の整備については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。いただいたご意見は、その際の参考にさせていただきます。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載しておりません。